

九州大学経営協議会議事録

日時：平成20年3月19日（水）13：00～14：30

場所：九州大学 事務局第一会議室

出席者：（略）

【前回議事録の確認】

梶山総長から、前回1月28日開催の議事録について確認があり、今後、ホームページへ掲載し、学内外へ公表する旨の発言があった。

【報告】

1 総長候補者の推薦について

梶山総長から、総長選考会議より経営協議会あてに次期総長候補者の推薦依頼があり、最大5人の候補者を選考する必要がある旨の報告があった。次いで、その詳細について、大土井総務課長から説明があった。

【議題】

1 平成19年度計画の変更について

村上理事から、平成19年度計画の施設・設備に関する計画に「馬出団地 耐震対策事業」を追加し、これに伴う予算及び資金計画の変更について説明があり、審議の結果、これを了承した。

今後、役員会へ附議したうえで文部科学省へ届け出ることとした。

2 平成20年度計画について

村上理事から平成20年度計画の概要について、芹ヶ野企画部次長よりその詳細について説明があり、審議の結果、これを了承した。

今後、役員会へ附議したうえで文部科学省へ届け出ることとした。

その際、以下のような意見等があった。

- ・ 本年度計画において重点を置いている部分は何か。
 - 教育に関する達成目標の設定や六本松キャンパスの着実な移転に取り組んでいきたい。
- ・ 全入時代へ備えた取り組みとして、学生への支援を強化すべきではないか。
 - 企業からの寄附金を充実・活用する等の取り組みを行いたい。
 - 学部生への講義の充実を図りたい。
 - 六本松キャンパスの移転に備え、伊都キャンパスにおいて、講義室、体育館及び人工芝グラウンドの整備を行う予定。また、図書資料の充実も図りたい。

- ・ 市街地にサテライトキャンパスを整備すべき。
 - 百周年記念事業としても積極的に取り組んでいきたい。また、既存のサテライトキャンパスの一層の活用も図りたい。
- ・ 亭々舎の移設をお願いしたい。
 - まずは、教育研究活動に必要な施設等の移転に全力を注ぎたい。
- ・ 救急医療へ積極的に対応していただきたい。
 - すでに救命救急センターを整備。また、ヘリポートの使用も開始される予定。

3 役員の給与の支給基準について

上田総務部次長から、役員の給与の支給基準について説明があり、審議の結果、これを了承した。

【自由討議】

1 九州大学教育グランドデザインの提言について

渡辺理事から、本学の中長期的な教育のあり方・将来像への提言である「教育グランドデザイン」の中間答申について説明があり、次いで、梶山総長から、これについては、現在学内へ意見を求めており、本会議の委員からのご意見等をいただき、今後の検討に活かしていきたい旨の発言があった。

これに対し、各委員から以下のような意見等があった。

- ・ 学部の廃止まで視野に入れるということか。
 - 入学者選抜の段階では、学部学科を超えた「学域」の導入を図りたい。
 - 学生への教育を行う段階では、専門教育だけではなく、学生に必要な知識は何かという観点から、全学的な教育方策を検討している。
 - まずは、本提言による意識改革を図りたい。
- ・ 教養部の廃止時に、リベラルアーツへの取り組みを開始したのではないか。
 - 全学教育ではあるものの、実態的には、専門教育の前段階教育という意味合いが強かったと考えている。
 - すべてがすぐに実現できるとは限らないが、学内関係者の意識改革に十分に活用いただきたい。
- ・ 高校生の視点に立てば、学域での選抜は大賛成である。
 - 専門を決める段階で、成績の良い学生は自分の好きな分野に進めるが、成績の悪い学生は自分の好きな分野に進めなくなるという現実も考慮しつつ、慎重に検討を進める必要がある。
 - また、学域の規模についても、慎重に検討を進める必要がある。

【紹介】

梶山総長から、本年3月末で任期満了を迎える学内委員の紹介があった。

(以 上)